

| | |
|------------------|---|
| Title | アメリカとニーバー America and Reinhold Niebuhr 実施結果：アンケート集計結果の概要 (総合研究所 News : 2008 聖学院大学総合研究所主催 講演会 総合研究所 20 周年記念行事・戦後日本社会の再検討) |
| Author(s) | 聖学院大学総合研究所 |
| Citation | 聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.18-No.2, 2008.9 : 35-36 |
| URL | http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4770 |
| Rights | |



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

2008 聖学院大学総合研究所主催 講演会
 総合研究所 20 周年記念行事・
 戦後日本社会の再検討
 アメリカとニーバー
 America and Reinhold Niebuhr
 実施結果 - アンケート集計結果の概要 -

日時 2008年5月30日(金) 18:00~20:30
 場所 女子聖学院中学・高等学校
 クローソン・ホール

【プログラム】

挨拶

大木英夫(聖学院大学総合研究所所長)

講演

高橋義文(聖学院大学大学院総合研究所教授)

藤原淳賀(聖学院大学総合研究所准教授)

スタンリー・ハワーワスによるラインホルド・ニーバーの評価の検討

—キリスト者は何に召されているのか?

西谷幸介(青山学院大学大学院教授)

ニーバー的視点から見たアメリカと国連

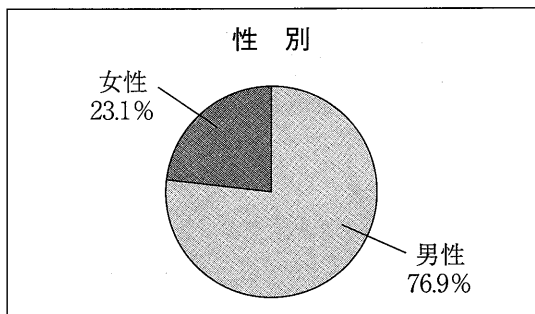
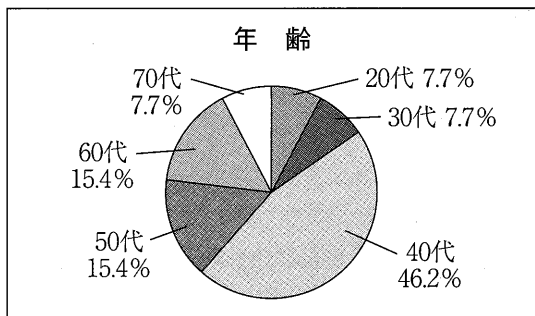
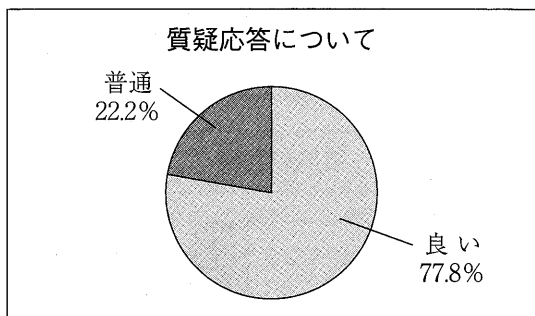
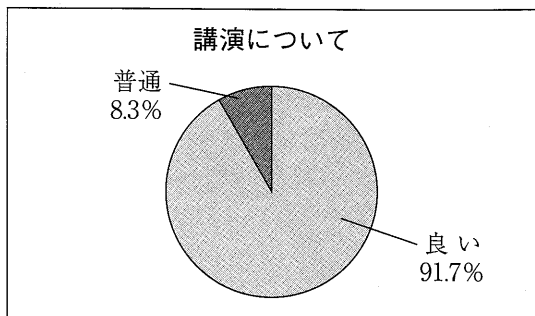
—ブッシュ政権の単一神教的誤謬

質疑応答

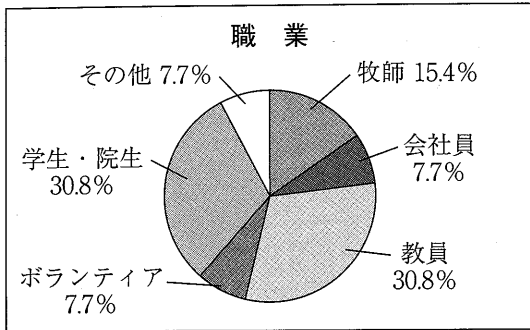
司会 深井智朗(聖学院大学総合研究所教授)

【結果の概要】

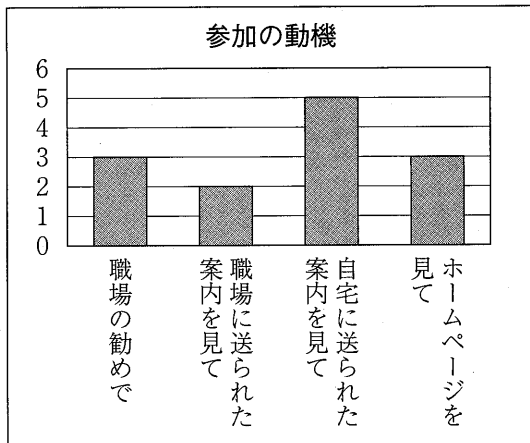
- ・参加者は65名。内アンケート回答者13名。
- ・講演について、91%から「良い」という回答を得た。質疑応答について77%が「良い」という結果だった。
- ・自由意見では、「興味はあるが難しい」「短時間で理解するのは難しい」など。



*年齢別では、40代が最も多く46%、次に50代・60代ともに15%となった。
 性別は、男性76%、女性23%となった。



* 職業別には、教員、学生・院生がともに30%となり、次に牧師が15%となった。



* 参加の動機としては、「自宅に送られた案内を見て」が最も多かった。

自由意見

- ・ 発題者同士の互いのやりとりがもっと実現するようなアプローチで行われればさらによいと思われれます。
- ・ ニーバーの祈りのことばと出会い、今回のお知らせに出会い、ここからがニーバーの学びとなると思う。今回のお話は私にとっては興味はあるがたいへん難しいものであった。
- ・ なかなか短時間で理解するのは難しい。日本に対して何が言えるか？ と問うたことはよかったと思う。
- ・ 私は普遍的価値を信じる者ですがキリスト者ではありません。ゆえにキリスト者の考え方には興味があります。今日の先生方の本を読ませていただこうと思います。特に西谷先生を知ることができたのは有益でした。
- ・ ニーバーの神学においては喜び、パッションに触れた研究を（彼に否定的であれ肯定的であれ）聴きに來たのですが…。残念です。また具体的な力として学びたいと思います。
- ・ As the meeting Progressed, understanding deepend - good Q&A with climax at end with Dr.Furuya then Dr.Ohki - need more connection with our task as theologians in Japan from outset.



会場の様子